

## 臨床研究概要

① 整理番号 14-5-22

② 研究課題名

レセプトおよびDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する研究

③ 目的と意義

レセプト、特定健診、DPC の情報、中核都市型医療圏における実態調査などの情報を組み合わせることにより、急性心筋梗塞、重症心不全の救急診療に関する大規模データベースを構築し、1) 救急搬送時間の予後への影響、2) プロセス及びアウトカム指標による医療の質評価、3) 医療費への影響を定量的に評価する。これにより、循環器領域における診療行為の実態を全国規模で調査し、医療の質の向上に寄与できる。

④ 適格基準

レセプト電算ファイル上、主傷病名、入院の契機となった傷病名、最も医療資源を投入した傷病名のいずれかに急性心筋梗塞、心肺停止または重症心不全に関連する病名の少なくとも一つを含む患者を対象とする。文書による患者の同意：なし（調査の趣旨を院内掲示する）。

⑤ 方法

各施設でデータを暗号化し、入院および外来レセプトデータ、もしくはDPC調査形式データより対象症例を抽出する。データ作成には外部委託団体に依頼して行う。許可を受けた場合は特定健診データ、患者の一般診療所、調査対象病院以外での治療行為に関しても情報収集を行う。救急搬送情報は、地域の消防当局に交渉し、データ提供を受けることを許可された場合に上記情報と連結する。

⑥ 評価項目

入院中の死亡割合、入院から24 時間以内/7 日以内/30 日以内の死亡割合、外科治療・血管内治療から30 日以内の死亡割合、退院時ADL スコア (modified Rankin Scale)

⑦ 目標症例数：不詳

⑧ 試験予定期間：承認日より 2016 年 3 月 31 日まで

⑨ 主幹機関：国立循環器病センター